

Player Introduction

選手・出場者紹介

*参加選手は変更になる可能性がございます。



水内 猛

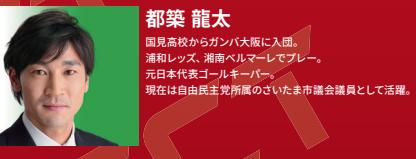
旭高校から浦和レッズにて活躍。Jリーグ開幕から浦和レッズを人気につなげた一人とも言える。
引退後はアリーナに所属し、TV業界へ転身。数多くのTV出演、スポーツキャスター、YouTubeや浦和レッズ応援番組REDS TV GGRキャスターとしても活躍。
元TBS小倉弘子アナウンサー。



永井 雄一郎

小学校年生から高3年生まで約12年間、三義真和SCでプレー。高卒新人FWとして浦和レッズへ入団。
ドイツのカースルーエSC、清水エスパルス、横浜FCなどでプレー。元日本代表。

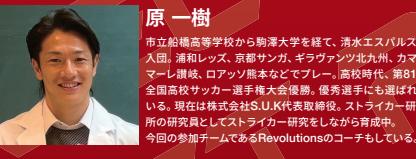
現在は神奈川県社会人部のやぶさいレブンにて選手兼監督として活躍。



都築 龍太

国見高校からガンバ大阪に入団。
浦和レッズ、湘南ベルマーレでプレー。
元日本代表ゴルキーパー。

現在は自由民主党所属のさいたま市議会議員として活躍。



原 一樹

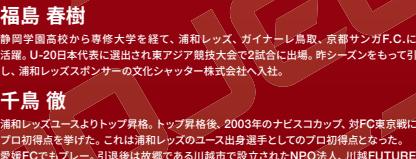
市立船橋高等学校から駒澤大学を経て、清水エスパルスに入団。浦和レッズ、京都サンガ、ギラヴァンツ北九州、カマダマーレ讃岐、ロアッソ熊本などでプレー。高校時代、第81回全国高校サッカー選手権大会優勝。優秀選手にも選ばれていた。現在は株式会社S.U.K.H.代表取締役。ストライカーリサーチ研究所の研究員としてストライカーリサーチ研究をしながら育成中。
今回の参加チームであるRevolutionsのコーチもしている。



三上 卓哉

駒澤大学から浦和レッズ、京都サンガF.C.、愛媛FCにて活躍。
通算178試合出場。

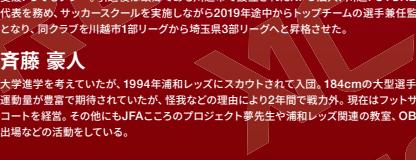
引退後は文化チャーターフットボール会社に就職をして製造現場での仕事に携わっている。今は毎日勉強の日々で目標に向かって努力している最中。



福島 春樹

静岡学園高校から専修大学を経て、浦和レッズ、ガイナーレ鳥取、京都サンガF.C.にて活躍。
U-20日本代表で選出され東アジア競技大会で2位表彰。昨シーズンをもって引退し、浦和レッズボンバーの文化チャーターフットボール会社へ入社。

千鳥 徹
浦和レッズ昇格。トップ昇格後、2003年のナビスコカップ、対FC東京戦にて得点を挙げた。これは浦和レッズのコース出身選手としての最初の得点だった。
愛媛FCでもプレー。引退後は故郷である三重県で設立されたNPO法人、川越FUTUREで代表を務め、サッカースクールを実施しながら2019年途中からトップチームの選手兼任監督となり、同クラブを川越市1部リーグから埼玉県3部リーグへと昇格させた。



齊藤 豪人

大学進学を考えていたが、1994年浦和レッズにスカウトされて入団。184cmの大柄選手でプロ初得点を挙げた。これは浦和レッズのコース出身選手としての最初の得点だった。

愛媛FCでもプレー。引退後は故郷である三重県で設立されたNPO法人、川越FUTUREで代表を務め、サッカースクールを実施しながら2019年途中からトップチームの選手兼任監督となり、同クラブを川越市1部リーグから埼玉県3部リーグへと昇格させた。

浦和レッズOB 元Jリーガー

元Jリーガー



1 | 高木 義成

修徳高校、国士館大学を経て、GKとしてヴェルディ川崎/東京ヴェルディ、名古屋グランパス、FC岐阜にて活躍。通算284試合出場。
ユニバーシアード日本代表、Jリーグフェアプレー個人賞も受賞。
引退後はGK指導にあたり、“高木式GKメソッド”と名付け、公式YouTubeやSNSで公開している。



10 | 渡邉 大剛

国見高校から京都サンガF.C.、大宮アルディージャ、釜山アイパーク(韓国)、カマターマーレ讃岐、品川CC横浜にて活躍。
通算461試合出場しU-18日本代表に選出。
現在は選手の代理人で大学生の就活支援やアスリーのセカンドキャリア支援に従事する。



11 | 坂田 大輔

2001年に横浜F・マリノスユースからトップチームに昇格し、横浜F・マリノスのレギュラーフォワードとして、Jリーグ連覇にも貢献。その後もFC東京、アビスパ福岡で活躍。福岡ではゲームキーパーティーを務め、チームの大会柱として奮闘を続けた。
日本代表では2001U-16日本代表を皮切りに2006年A代表迄各世代代表として活躍。現在は退手エージェントをしています。



13 | 西村 陽毅

朝霞市出身。朝霞第一中学校、朝霞西高校。
大宮アルディージャユースよりトップ昇格。アテレ高崎、FCガンジュー岩手にて活躍。
引退後は大宮アルディージャU-12コーチに就任、現在はさいたまシティースカウト監督。



2 | 徳永 悠平

長崎の名門国見高校、早稲田大学、世界別日本代表に選出された大学時代、大学生としては初の特別指定選手となり、以後FC東京と日本代表で指揮のDとして活躍。18歳に及ぶプロデビュー選手人生をFC東京とV-ファーレン長崎で過ごした。通算464試合出場、オリンピック出場。
引退後はGKコーチを務め、日本代表をワールドカップ初出場に導いた。引退後はガイナーレ鳥取取締役GMとして活動している。



3 | 保崎 淳

横浜F・マリノスユース、流通経済大学を経て、水戸ホーリーホック、サザンバックス群馬、ソーラン金沢、鈴鹿ランボル、SC相模原、アウェントーラ川口、エリース東京にて活躍。
通算213試合出場。現在はフリーで活動中。



4 | 天野 貴史

四日市中央工業高等学校から福岡大学を経て、浦和レッズに入団。
湘南ベルマーレ、レフア山口でプレー。
元日本代表、2008年FIFAワールドカップ出場。
引退後はタレントとしてテレビなどで活躍。



5 | 谷田 悠介

朝霞市出身。朝霞第一中学校、武南高校、法政大学を経て、アーバンズ柏、サガン鳥栖、カターレ富山にて活躍。
通算103試合出場。2002年U-17日本代表に選出。
引退後は、カターレ富山にて普及コーチを経験し、現在は堺玉県立所沢おおぞら特別支援学校にて教員を行っている。



6 | 小椋 祥平

千葉県出身。修徳高等学校、水戸ホーリーホック、横浜F・マリノス、ガンバ大阪、モンテディオ山形、ヴァンフォーレ甲府に所属。
2004年水戸へのプロキャリアを開始。2014年にジョコヴィチとAC長野パルセイロにて活躍。
通算176試合出場。
引退後は、カターレ富山にて普及コーチを経験し、現在は堺玉県立所沢おおぞら特別支援学校にて教員を行っている。



7 | 加藤 大志

朝霞市出身。朝霞第一中学校、精光学園高校から湘南ベルマーレ、京都サンガF.C.、横浜FCにて活躍。
通算415試合出場。2012年に愛媛FCでボジショを獲得。2014年には湘南ベルマーレにてJ2優勝とJ1昇格を支えた。2016年はFC東京。2017年には湘南ベルマーレにてプレー。この年のJ1昇格に大きく貢献した。現役引退後はFC町田ゼルビア。2021年は古巣・愛媛FCへ復帰の場を移した。2023年シーズンをもって現役引退、育成年代への指導などキャリアの幅を広げている。



8 | 小林 大悟

静岡の名門清水高等学校から東京ヴェルディ1969に入団。
ユース代表に選出されAFCユース選手権2002では準優勝。
翌年の2003FIFAワールドユース選手権での出場を果たし、横浜F・マリノス、アビスパ福岡、アビレックス新潟、SC相模原、藤枝MYFCにて活躍。J1、392試合を筆頭に通算442試合、52得点。
現在は株式会社Baller Onlyを立ち上げ、体のメンテナンスを主に事業を行なう実業家である。



9 | 成岡 翔

静岡県の強豪、藤枝東高校で中心選手として活躍し、ジュビロ磐田でプロキャリアをスタート。
アビスパ福岡、アビレックス新潟、SC相模原、藤枝MYFCにて活躍。J1、392試合を筆頭に通算442試合、52得点。
現在は株式会社ラボーナに所属し、子供たちの指導にあたる実業家である。



みどりかわたけし

横浜選手としてのまな番組や紅白歌合戦など多数出演。
本人とも交流があり結婚式に呼ばれる程。
成立学園サッカー部出身なので顔もフレも完全再現。



10 | 銚田 康洋

日本初の3人制サッカーカージュボールのプロ契約選手。
元日本代表キヤブテン・長谷部誠選手のモノマネ「長谷部まるで」で有名。
銚田FC東京高崎洋次郎選手公認モノマネとしても活動。
銚田FC東京高崎洋次郎選手公認モノマネとしても活動。



MC・司会者

ちよいまねJAPAN with Revolutions
Revolution



MC しんご

オリエンタルラジオ藤森慎吾公認モノマネ芸人。
現在、JFL初となる様々なエントリーチームでのDJ、大型ファッションショウ、テレビ番組、ラジオとマルチに活動。
FC東京高崎洋次郎選手公認モノマネとしても活動。



ダブル鈴木

MC・チ・鈴木(夫・モノマネ、妻・オイバーカッシュ)とインディペイント(夫・リチャード・ペイント)の夫婦による2016年コンビを組み、日本各地でサッカーパフォーマンスやフィギュア教室を実施中。英語や音楽を使ったパフォーマンスやトーク、講演も人気。
全国の学校、そして児童養護施設訪問も積極的に行っている。2017年7月には香港にて初めて海外パフォーマンスを実施。同年11月には韓国にてパフォーマンスを実施。



ムッチー鈴木

Jリーグ、WEリーグ、なでしこリーグなどの実況を行っている。現在はBリーグ、VリーグのアリーナMCをつとめるスポーツアナウンサー。
その傍らちよいまねジャパン長友選手のそっくさん10周年を迎える。



インディ鈴木

2006年から2016年、サッカーエンターテイメント集団「球舞・CUBE」にて国内、国外問わず活動。マッチスター・コナイタード、ホームグラウンドでのハーフタイムパフォーマンス実施。
2016年ソロプロジェクトを発表し独立。フリースタイルフットボールに加え、エンタメ英会話、クリニク・(サッカー)英会話・講義等、幅広く活動をスタート。英検1級、TOEIC975点の英会話講師でもあり、著書に「タルタル英語」「実戦!英語スピーチ」等。